

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日

～

令和2年3月31日

社会福祉法人 昭壽会

目次	頁	目次	頁
法人本部	1	4. 建物・設備・備品等管理	20
1. 年度重点目標総括	1	5. 年間行事計画等	21
(1) 事務部門	1	6. 研修計画	21
(2) 器具備品、不動産等の管理	1	共同生活援助事業所すみれハイツ	22
(3) 人材育成と確保及び定着	1	1. 利用者様の状況	22
(4) 地域社会との連携と交流	2	2. 年度重点目標達成状況	23
(5) 各事業所年間事業総括	3	3. 利用者様支援	23
障害者支援施設 あかしや寮	6	(1) 生活支援	23
1. 利用者様の状況	6	(2) 地域生活援助	23
2. 年度重点目標達成状況	8	(3) 健康管理	23
3. 利用者様支援	8	(4) 食事の提供	23
(1) 生活支援	8	4. 建物・設備・備品等管理	23
(2) 生活訓練	8	5. 年間行事	23
(3) 日中活動	8	相談支援事業所 あかしや寮	24
(4) 生産活動	9	1. 年度重点目標達成状況	24
1) 椎茸栽培	9	2. 計画相談実績	24
2) リサイクル活動	9	(1) 計画相談作成・モニタリング	24
(5) 余暇活動	10	(2) 障害児計画相談作成件数	24
(6) 健康管理	10	(3) 計画相談以外	24
(7) 食事介助等	10	放課後等デイサービス事業所	25
4. 建物・設備・備品等管理	10	1. 利用者様の状況	25
5. 年間行事計画等	11	2. 年度重点目標達成状況	26
6. 研修計画	11	3. 利用者様支援内容	26
短期入所事業	12	(1) 活動	26
日中一時支援事業	12	(2) 遊び	27
就労継続支援B型事業所 わいわい	13	(3) 生活訓練	27
1. 利用者様の状況	13	(4) 地域交流	28
2. 年度重点目標達成状況	14	(5) 余暇の提供	28
3. 利用者様支援	14	4. 情報公開	28
(1) 就労継続支援	14	5. 広報紙	28
(2) 生活支援	16	6. 年間行事	29
(3) 就労支援	16	7. 研修計画	30
(4) 相談援助	16	福祉サービス事業所共通事項	31
(5) 食事提供	16	1. 食事提供サービス	31
(6) 健康管理	17	2. 保健衛生	31
4. 建物・設備・備品等管理	17	3. 苦情解決・虐待防止	32
5. 年間行事	17	4. 防犯・防災	32
6. 研修計画	17	(1) 総括	32
生活介護事業所 わくわく	18	(2) 重点目標報告	32
1. 利用者様の状況	18	(3) 防犯対策	33
2. 年度重点目標達成状況	19	(4) 防災対策	33
3. 利用者様支援	19	(5) リスクマネジメント	34
(1) 生活支援	19	5. 福祉サービス自己評価	35
(2) 生活訓練	19	6. 広報・地域交流	36
(3) 創作活動	19	7. 実習生受け入れ	36
(4) 健康管理	20	8. 家族支援	36
(5) 食事の提供	20	9. 建物・設備・備品等管理	37

法人本部

1. 年度重点目標総括

(1) 事務部門

国保連への請求業務は、利用者様の情報一覧を作成して、請求の正確性と請求漏れがないように工夫し、過誤件数が昨年度よりは減少しましたが、まだまだ多い状態です。確認作業を見直す必要があります。

職員勤怠管理等は、2人体制で確認し、社会保険労務士事務所へ提出する勤務状況データにミスがないように努めました。給与支払いまでの流れを労務士事務所と話し合いながら行っています。

経理に関しては、税理士事務所の月次監査に必要な資料の整理が期日までに間に合わず、支障が出ました。

(2) 器具備品、不動産等の管理

利用者様が安心・安全な生活を送るために、建物、器具備品の修理、保守点検が必要と思われるものを洗い出し、整備を行いました。

グループホーム1棟の屋根に設置した、太陽光湯沸かし装置が10年が経過したため点検を行ったところ、固定ワイヤーが緩んでいたため、修理を行いました。

あかしや寮多目的ホール脇の庭は、職員がレンガを敷き詰め手造りしたのですが、老朽化で段差等があり、転倒の危険性が増してきたため、予算計上を行い、コンクリート土間に改良し、車椅子でも利用できるようにしました。

不審者対策として、敷地内を見渡せるように、予算計上していた見守りカメラを3台増設しました。施設敷地内は、ほぼ全体が確認できるようになりました。

災害時に備えた非常食や機材を収納している非常用倉庫3棟の屋根が落ち葉などで腐食し、雨漏りしたため、補修工事を行いました。

あかしや寮とわくわくに設置している個浴用の特殊浴槽が、扉の開閉や温度調整に不具合が続き、修理を行っていますが、修理回数は増えてきています。

通所事業所の送迎の効率を良くするため、10人乗りの送迎車を購入しました。

わいわい敷地ののアスファルト舗装に亀裂ができてきたため、業者に修理依頼しています。

あかしや寮やわいわいの建物や作業用の建物は、築後30年を経過し、軒天の破損、敷居の腐食など、細々とした修繕を行うことが増加してきています。

新型コロナウイルス対策として、消毒薬やマスク等を多めに備蓄しましたが、先が見通せない状態のため、備蓄と節約が必要となっています。

(3) 人材育成と確保及び定着

1) 人材育成

利用者様により良い福祉サービスを提供するため、支援員の発想力と記録の要点を身につけ、各種記録をスムーズに行えるように、昨年に引き続き外部講師を招き、全

支援員を対象に研修を2回実施しました。

福祉関係の教育を受けていない支援員が多数いるため、自己研鑽に頼るだけでなく、日々の業務にすぐに役立てることができる研修を今後も企画していきます。技術、知識の向上を目指し、業務が難しいと感じている職員の離職防止にも役立つようにしていきます。

SST（社会生活技能訓練療法）研修や摂食及び嚥下に関する基礎研修に参加し、伝達講習を行っています。日々の支援業務に生かせる研修であり、知識、技能の向上を期待しています。

椎茸栽培などに使用するフォークリフト運転技能講習に希望者を参加させました。各種資格取得希望者には、取得の機会を与え、継続して就労する意欲を高めています。

全国知的障害関係施設長会議・相談支援従事者現任研修に、副主任以上の職責にある者を参加させ、障害福祉の現状把握と展望を学んでいます。

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修の初年度であり、対象となる7名が更新しました。サービス管理責任者基礎研修2名、相談支援初任者研修と現任者研修に各1名が参加しました。役職者に登用する研修と位置づけています。

2) 人材確保と定着

インターネットの求人サイトに登録していますが、サイトを見ての問い合わせは数件ありましたが、面接には現れないということが何度かありました。ハローワークを通しての求人では、通所事業所には応募は多くありますが、夜勤や早番、遅番がある入所施設では、支援員、調理員とも応募が少ない状況でした。

全役職者で求人方法の再検討を行い、仕事の内容が理解しやすいような求人票の見直し等を行いました。

応募者は、ホームページを見て応募しとという人が多く、採用サイトの整備を検討しています。

労働条件の改善として、年次有給休暇の計画的付与制度の導入など、年次有給休暇を取得しやすくする環境を整えました。年末年始は、利用者様が多く休むため、臨時休業にし、入所施設は日中活動を縮小して、全員が5日以上年次有給休暇を取得しています。

(4) 地域社会との連携と交流

おいらせ町社会福祉協議会主催の、「夏休みボランティア体験」では、下田中学校生徒のボランティア体験の受け入れをしました。

就労継続支援B型事業所わいわいでは、特別支援学校より1名、10日間の実習生の受け入れを行っています。福祉系資格取得の実習予定は、7名の学生を受け入れました。

12月には、地域住民に日頃の当法人事業への協力に対する感謝と障害者福祉サービス事業への理解と啓蒙のため感謝祭を開催しています。役200名程度の参加があり、ボランティアも例年より多く参加がありました。今年度目指した、活動や外出付き添いのボランティアの登録はありませんでした。

(5) 各事業所利用者様への支援の見直しと年間事業総括

1) 障害者支援施設 あかしや寮

施設入所希望者は、相談支援事業所や市町村担当課、他県からも空き状況の問い合わせがありました。無断外出や暴力行為等といったケースが多く、検討会議や嘱託医の意見を受け、入所に至りませんでした。

体験入所の申し込みがあり、調整を行っていましたが、本人様の都合や新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施時期を検討中です。

業務マニュアルの見直しを行い、日課等の変更を行いました。夜勤帯で利用者様の所在確認がおろそかになり、問題行動があったことから、夜勤帯での利用者様の行動をしっかりと把握することを目的として、夜間帯の入浴を土曜日以外は、日勤帯の活動終了後に変更しました。これにより、夜間に入浴支援が不要になり、利用者様の側に多く居られるようになりました。

入浴時間の変更は、利用者様にとっては好評であり、夕食後ゆっくり過ごせるようになったそうです。

生活介護の活動は、利用者様から同じ事の繰り返しで面白くないとの苦情があったことから、ゲーム等のテキストを参考にした活動や担当支援員を指名した月案を作り、活動の企画と準備から報告までを行うことにしました。種目によっては、利用者様の意外な能力の発見がありました。

生産活動では、リサイクル、椎茸ホダ木移動、環境整備を主に行いました。ビニールハウス周りのぬかるみを改善し、作業効率向上と安全に配慮しました。外での活動は、心肺機能を高め、健康維持に効果があります。

個別支援計画では、サービスの質が向上するよう、外部講師を招き、個別支援の考え方について研修会を開催しました。

健康面では、重度化、高齢化が進んできています。転倒による骨折や腸閉塞などで入院する利用者様があり、日頃の観察と職員の専門的知識、危機管理意識が課題となりました。

緊急時に家族の協力がなかなか得られず、施設に任せようとする事例もあり、利用者様と御家族との関係をいかに維持していくか、今後の重要な課題となってきました。

業務の改善が必要な時は、迅速にマニュアル等を更新し、共通した支援を行うようにしました。

冬期間は、毎年1月の帰省後から、インフルエンザ感染予防のため、外出泊は停止していますが、インフルエンザの発症者がいみせんでしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、3月に保護者様へ当分の間、面会を含め、外出泊の自粛を要請しました。利用者様が最も楽しみにしている外出ができなくなるため、ストレスの解消を考えていきます。

2) 就労継続支援B型事業所 わいわい

採算がとれない椎茸栽培をあかしや寮に返し、あかしや寮から生椎茸を購入して、乾燥椎茸に加工して販売することにしました。

昨年度途中より再開した惣菜やお菓子の食品販売事業は、固定客が付いてきていますが、今迄のやり方にこだわり、売れ残りがあってもその原因分析がなされていません。ロスのない販売ができるように工夫が必要です。

定員20名に対し、登録者数は14名となりました。週2回や月1回だけ利用する方でも、欠席することあり、利用率は低迷しています。

3) 生活介護事業所 わくわく

利用者様は定員には達しましたが、休む人も多いため、利用率は昨年と変わりはありません。

活動内容は、利用者様の希望や好みを尊重して行っていますが、新たに希望を取り入れることなく、固定された活動を毎週繰り返しているため、新しいプログラムの導入を目指しています。

他利用者様に、いたずらや暴力を振う、自分勝手な行動を取る利用者様に対し、何かすると虐待になるのではと萎縮し、毅然とした指導、支援が行えず、利用者様の社会性の獲得を阻害していることがありました。支援方法の再検討と統一が必要です。

てんかん発作が多い方、酸素吸入や喀痰吸引が必要な方など、様々な障害を持つ利用者様がいるため、活動時には細心の目配り、気配りを怠らないように支援し、事故が起きないようにしていきます。

4) 共同生活援助事業所 すみれハイツ

若年性認知症の方が、グループホームでの生活が難しくなり、退所となりました。胆のう炎などの治療で入院していた男性入居者が、退院直前に脳梗塞を発症し、介護施設への入所となりました。65歳以上の高齢者が何名かいるため、日中活動の事業所とも連絡を密にして、健康管理に努めていきます。

入居希望の体験利用を1名受け入れましたが、神経症による失立発作を何度も繰り返すことから、夜間に支援員が常駐していないため、受け入れは困難と判断しました。

グループホームからの緊急搬送や急な入院があり、支援員、世話人の迅速な対応が求められました。緊急連絡シートを作成し、即時対応ができるようにしました。

5) 相談支援事業所 あかしや寮総括

相談契約者は74名となっており、内訳として特定相談支援対象者69名、障害児相談支援対象者は5名です。計画相談については、前年度とほぼ人数は変わりなく、新規の利用者様はありませんでした。

新型コロナウイルスによる学校の休校など、行政や関係事業所と調整の数が増加していました。

停滞なく計画相談を実施し、本人様に合ったサービスが提供されているか、見えて

いない課題はないか、職員間で話し合いを行いながら、利用者様主体の計画作成に努めました。

モニタリング報告書、サービス等利用計画書の提出に遅れが出ないように、早めの連絡調整や作成業務に努めました。

6) 放課後等デイサービス事業所 キッズハウス ピッピ

現在4名の児童が利用しています。各利用者様に合わせたプログラムを作成し、発達の可能性を引き出したいと、支援をしてきました。男子児童達の気分には振り回される事が多く、一日のプログラムは計画通りに行えないことが多々ありました。

令和元年10月に、男子児童1名が退所すると、残った男子児童も利用を拒否する言葉が聞かれるようになりましたが、1月に2名の利用者様が新規に入ると先輩振る言動が聞かれ、落ち着きを取り戻し、少し成長したように見えます。

令和2年1月頃より新型コロナウイルスの影響で、外出がなくなり、事業所内での活動が主となっています。職員の創意工夫した活動で毎日を乗り切っています。

三沢小学校、甲洋小学校の特別支援学級と関係機関連携会議を開催し、利用児童の支援に生かしました。4月からは、小学1年生の新規利用予定があります。

障害者支援施設 あかしや寮

1. 利用者様の状況

(1) 障害者支援施設 あかしや寮 入所

1) 支援程度区分

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
40	38	男性	0	0	1	3	8	8	20
		女性	0	0	0	5	6	7	18
		計	0	0	1	8	14	15	38

平均区分：全体5.1 男性5.1 女性5.1

2) 利用者の年齢

年齢	18～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	66～ 75	計
男	0	1	2	2	3	0	7	2	1	2	20
女	1	0	1	3	1	1	8	1	0	2	18
計	1	1	3	5	4	1	15	3	1	4	38

平均年齢：全体 47.8歳 男性：49.3歳 女性：46.3歳 最少年齢：21歳 最高年齢：69歳

3) 出身地

市 町 村	八 戸 市	三 沢 市	十 和 田 市	む つ 市	お い ら せ 町	六 戸 町	東 北 町	横 浜 町	五 戸 町	田 子 町	六 ヶ 所 村	計
男	4	7	0	1	4	1	2	0	0	0	1	20
女	0	3	5	0	4	2	1	1	1	1	0	18
計	4	10	5	1	8	3	3	1	1	1	1	38

4) 月別施設利用状況 定員40名

施設入所支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
延人数(人)	1,153	1,191	1,166	1,193	1,142	1,164	7,009
平均(人)	38.4	38.4	38.8	38.4	36.8	38.8	38.2
利用率(%)	96.0	96.0	97.1	96.2	92.0	97.0	95.7
施設入所支援	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	1,185	1,143	1,193	1,168	1,131	1,182	14,011
平均(人)	38.2	38.1	38.4	37.6	39.0	38.1	38.2
利用率(%)	95.5	95.2	96.2	94.1	97.5	95.3	95.6

(2) 障害者支援事業所 あかしや寮 生活介護

1) 支援区分

令和 2年 3月31日現在

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
40	39	男	0	0	1	3	8	9	21
		女	0	0	0	5	6	7	18
		計	0	0	1	8	14	16	39
平均区分：全体5.1 男性5.1 女性5.1									

2) 利用者の年齢

年齢	18～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	66～ 75	計
男	0	1	2	3	3	0	7	2	1	2	21
女	1	0	1	3	1	1	8	1	0	2	18
計	1	1	3	6	4	1	15	3	1	4	39
平均年齢：全体 47.6歳 男性：48.8歳 女性：46.3歳 最少年齢：21歳 最高年齢：69歳											

3) 出身地

市町村	八戸市	三沢市	十和田市	むつ市	おいらせ	六戸町	東北町	横浜町	五戸町	田子町	六ヶ所村	計
男	4	7	0	1	4	2	2	0	0	0	1	21
女	0	3	5	0	4	2	1	1	1	1	0	18
計	4	10	5	1	8	4	3	1	1	1	1	39

4) 月別施設利用状況 定員40名

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
延人数(人)	869	907	798	910	822	837	5,143
平均(人)	39.5	39.4	39.9	39.5	37.3	39.8	39.2
利用率(%)	98.7	98.5	99.7	98.9	93.4	99.6	98.1
生活介護	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	904	821	867	883	800	859	10,277
平均(人)	39.4	39.0	39.4	38.3	40.0	39.0	39.1
利用率(%)	98.2	97.7	98.5	95.9	100	97.6	98.0

2. 年度重点目標達成状況

個別支援計画は、個々の思いを尊重し、「本人の役割」を追加し、目標達成に向け、利用者様と一緒に取り組みました。

個々の考えや障害特性に配慮した支援と活動の提供を行いました。利用者様からの苦情や要望には、自治会「フレンズ」を中心に、解決に向けた迅速な対応を行いました。

身体機能や認知機能の低下には、医療機関、各関係機関と連絡を取り合い、対応しました。インフルエンザに感染した利用者様はいませんでした。

3. 利用者様支援

(1) 生活支援

個別支援計画に基づいた支援を行い、心身とも健康で快適な生活を送る事ができるように、食事、排泄、入浴、睡眠などの日常生活支援を行いました。

日中活動では、昨年度に利用者様から、同じ事ばかりで面白くないとの声が多かったため、興味を持って活動する事ができるように工夫しました。

生産活動では、体力維持と働く事で工賃を得る喜びを得るために、椎茸栽培やリサイクル活動の環境を整えました。

看護師、栄養士、関係機関と連携を図り、身体機能の維持、向上、健康管理にも努めました。

利用者様の重度化、高齢化により、身体介護を必要とする利用者様が増加傾向にあります。介護保険施設への移行が利用者様の為になると思われる時は、御家族と協力して進めています。本人が希望して有料老人ホームに移行した方もおりました。

セラピー犬が亡くなった事によるペットロスから、情緒不安定になった利用者様がいました。新しいセラピー犬が来たことにより、安定しました。

(2) 生活訓練

生産活動での椎茸栽培とリサイクル活動では、工賃を得ることで、達成感や持続力、協調性、社会性を養い、体力増進にも努めました。

軽運動は、筋力、健康維持を目指しました日々、違った活動を提供することで活動に興味を持ち、参加する利用者様が増えました。

外出や買い物、地域行事への参加は、利用者様にとって楽しみな時間であり、社会生活上のマナーを習得する機会となりました。誤嚥の危険がある利用者様への外出時の飲食に対する職員の配慮不足が見られました。

洗濯や衣類の整理、居室の掃除等は、個別に支援の日を設け、確実に支援を行えるよう日課の整備を行いました。

(3) 日中活動

今までの固定化された活動内容を改め、12冊のレクリエーション教本を元に、3ヶ月から4ヶ月を1周期として、毎日違う内容の活動を提供し、利用者様の反応を、観察、記録、統計をとりました。

利用者様の反応が良かったもの、利用者様の年齢、体力に合わせてアレンジができ

るもの、支援に改良の余地があるもの、普段参加しない利用者様が興味を示したものの、参加希望人数が多かったものに重点を置き、活動内容を決定しました。

その結果、利用者様の意外な能力を発見することが出来ました。

(4) 生産活動

1) 椎茸栽培

今年度より、椎茸栽培は利用者様の体力維持のためと、就労継続支援B型事業所わいわいの利用者減により、あかしや寮に移行しました。収穫した椎茸は、あかしや寮厨房で使用する分を除き、わいわいに販売しています。

夏場には、定期的に散水を行い、高温対策に努めましたが、菌の育成状況に影響が出て、8月の収穫量が減りました。

原木2,000本を購入し、1月より植菌作業を行いました。利用者様には、植菌作業の補助やホダ木運びに携わっていただきました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
椎茸収穫量 kg	53.78	114.85	74.76	227.17	34.26	168.5
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
椎茸収穫量 kg	320.62	102.21	87.74	86.05	54.59	103.3

2) リサイクル活動

分別作業では、アルミ缶とスチール缶が混ざらないよう、最終確認は、支援職員が行い、混在しないよう徹底しました。買取業者からは、苦情などはありませんでした。分別後の缶は、可能な限り缶潰し機で圧縮し、精算時の輸送回数とガソリン代の削減に努めました。

12月1日より、段ボールやペットボトルの買取価格が減少したため、売上が2万円程低下しました。

作業終了後には、洗剤を使用して、作業場の床の洗浄、使用した道具の清掃を行い、活動場所の清潔保持に努めました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上げ	42,650	65,295	60,975	61,153	55,427	58,005
経費	21,479	28,613	27,901	24,117	26,637	30,892
工賃	21,140	29,565	28,895	26,380	18,370	22,790
総利益	31	7,148	11,327	21,983	32,403	36,726
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上げ	61,963	54,247	35,372	46,554	37,571	26,939
経費	16,869	29,406	23,278	23,542	17,684	62,062
工賃	25,675	25,875	11,292	21,490	20,405	21,645
総利益	56,145	55,111	55,913	57,435	56,917	149

(5) 余暇活動

入浴時間が、重度の利用者様は午前、中軽度の利用者様は午後の活動終了後に変更しました。利用者様からは、夕食後好きなテレビを観ることができる、ゆっくり過ごす事ができる等の意見が聞かれました。反面、就寝薬服用や治療が終わると就寝してしまう利用者様も多く、就寝時間が早くなりました。

5月の連休やお盆、年末年始には、帰宅されない方は外出や施設内での催しを時間を設けました。1月からはインフルエンザ、その後の新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、外出できない状況となりました。

(6) 健康管理

看護師と連携し、体調不良の早期発見と治療に努めました。朝と入浴前には、高血圧症の利用者様のバイタル測定を行い、健康管理に努めました。入浴、排泄時には身体チェックを行い、怪我や体調を確認しました。

自分で出来ない利用者様は、歯磨き介助を行い、自分の歯で食べる事を楽しめるように支援しています。

屋外活動を行い、身体能力の維持、向上にも努めました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、手洗いの指導を再度行い、感染予防には手洗いが重要なことを意識付けました。

換気や消毒、掃除の確認表を活用し、施設内の清潔と健康管理に努めています。インフルエンザ、新型コロナウイルスの感染者はありませんでした。

利用者様の行動を把握し、変化への気づき、記録を取ることで、変調への早期発見や対応に努めました。異常が見られた時は、看護師へ報告して通院を行い、医療機関や家族との迅速な対応を行いました。

(7) 食事介助等

給食会議では、利用者様の食事や健康状態を議題にし、状況に応じた食事形態での食事提供を工夫をしました。

食事前後には手洗い、消毒、挨拶、テーブル拭きなどのマナーと衛生面に対する支援を行っています。エプロンや自助食器を使い、自分で食べる事ができる利用者様には、能力の維持に努めました。

咀嚼や嚥下能力低下している利用者様は、支援員が見守り、介助を行っています。

4. 建物・設備・備品等管理

居住棟・寝具管理

寝具のシーツ類は、週に一度交換し、汚損があった場合は直ちに交換しています。半年に一度、大掃除を行いました。建物の確認をして修理を行っています。

5. 年間行事計画等

月	行事・イベント等	月	行事・イベント等
4月	創立記念日・家族交流会 道路清掃 前期健康診断	10月	
5月	ゴールデンウィーク帰省 花見会	11月	観光旅行 仙台市内
6月	家族交流会・フラワーデー (花壇作り)	12月	利用者様忘年会 日帰り観光旅行 盛岡市
7月	歯科検診、炊き出し訓練 日中活動参観日	1月	冬季帰省
8月	夏季帰省 海を見に行こう	2月	
9月	三者面談会	3月	

6. 研修計画

業務マニュアルの読み合わせを行い、業務内容や共通理解事項を再確認しました。6月、1月には、講師を招き、個別支援計画書の作成について研修会を行いました。外部研修に参加した職員による伝達研修を行い支援技術の向上を図りました。

ケース記録で注意する点や良い例、悪い例など、過去の研修で有用と思われる研修の振り返りを行い、日々の業務に生かすように努めました。

4月	事業計画書の読み合わせと確認
5月	業務マニュアル確認
6月	個別支援計画書について（外部講師：宇恵野 晋氏）
8月	研修報告（摂食及び嚥下に関する基礎研修）
9月	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設について
10月	研修報告（ソーシャルスキルトレーニング）
1月	個別支援計画書について（外部講師：宇恵野 晋氏）
1月	平成30年度介護記録研修 振り返り
3月	てんかん発作時の対応について

短期入所事業

1. 利用状況

短期入所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
定員2	延人(人)	6	5	11	16	14	9	61
	平均(人)	0.2	0.16	0.35	0.51	0.45	0.3	0.33
	利用率(%)	10	8	18	25	22	15	16
短期入所		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員2	延人数(人)	4	7	10	18	13	12	125
	平均(人)	0.12	0.23	0.32	0.58	0.45	0.39	0.34
	利用率(%)	6	11	16	29	22	19	17

2. 年度重点目標報告

短期入所をされた時は、事故、怪我等がなく過ごせるように支援にあたりました。インフルエンザ流行時期には、事前に御家族へ確認を行い、来寮時には検温を行い、健康面の配慮にも努めました。短期入所の要望には、断ることなく受け入れすることができました。

短期入所利用者様の衣類等を返し忘れることがありました。利用者様の所持品は支援員2人で確実に確認を行い、チェックシートへ記載し、紛失、返し忘れがないように対応しています。

3月からは新型コロナウイルス感染対策として、利用時の健康管理を、更に強化しています。

日中一時支援事業

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
人数(人)	0	2	0	2	0	2	6
実人数(人)	0	1	0	1	0	1	3
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(人)	2	1	2	1	3	1	16
実人数(人)	1	1	1	1	1	1	9

2. 年度重点目標報告

利用の申し込みは、問題行動がない限り受け入れました。主な利用者様は、当法人通所事業所及び、以前より利用している方で新規の利用はありませんでした。

就労継続支援B型事業所 日中活動支援センター わいわい

1. 利用者様の状況

1) 支援区分

令和 2年 3月31日現在

定員	現員	区分	判定なし	1	2	3	4	5	6	計
20	14	男性	2	0	0	4	2	0	0	8
		女性	2	0	1	2	1	0	0	6
		計	4	0	1	6	3	0	0	14
平均区分：全体2.2 男性2.5 女性2.0										

2) 利用者の年齢

年齢	18～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	66～ 75	計
男	2	1	0	0	0	1	0	2	1	1	8
女	0	1	2	1	0	1	1	0	0	0	6
計	2	2	2	1	0	2	1	2	1	1	14
平均年齢：全体42.2歳 男性：45.0歳 女性：38.5歳 最少年齢：19歳 最高年齢：68歳											

3) 出身地

市 町 村	八 戸 市	三 沢 市	青 森 市	お い ら せ 町	六 戸 町	階 上 町	十 和 田 市	計
男	2	1	1	1	1	1	1	8
女	3	0	0	3	0	0	0	6
計	5	1	1	4	1	1	1	14

4) 月別施設利用状況 定員20名

就労継続支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
延人数(人)	286	292	267	265	237	256	1,603
平均(人)	13.0	12.6	13.3	11.5	10.7	12.1	10.1
利用率(%)	65.0	63.4	66.7	57.6	53.8	60.9	61.2
就労継続支援	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	282	241	240	255	225	253	3,099
平均(人)	12.2	11.4	11.4	11.5	11.2	11.5	11.3
利用率(%)	61.3	57.3	57.1	57.9	56.2	57.5	58.3

2. 年度重点目標達成状況

平均工賃15,000円の目標設定を達成することができませんでした。清掃委託業務や三沢基地航空祭の出店収入に依存したためであり、移動販売での惣菜や菓子類の販売方法に創意工夫も無く、採算が見合わない乾燥椎茸、干し大根の製造に固執し、新規の作業種目の開発を怠った結果です。利用者様に高賃金を支払い、地域生活を充実したものにするためにも、不採算部門を整理して、高収入が得られる作業を開発しなければなりません。

3. 利用者様支援

(1) 就労継続支援

1) 椎茸栽培加工

今年度より、あかしや寮へ椎茸栽培が移行となりました。生椎茸を購入する形をとり、購入した生椎茸は、干し椎茸等に加工して販売しました。

2) 園芸畑作

アザレアを小中学校、保育園から受注する際、例年と違い、6から8割咲きでの納品依頼が多くありました。開花状況は良好でしたが、暖冬の影響で害虫が発生し、葉や蕾へ害虫が入り込みがありました。早急に薬剤散布対応しましたが、納品できない状態の物がありました。業者へ追加発注し、納品分を確保しました。

蕾状態を保つため、ハウス内開閉や加温機温度設定の管理を徹底することで、注文条件に適した状態で納品ができました。

3) 清掃業務委託

あかしや寮清掃業務を11月迄は、週5日午前、利用者に職員が付き添い行っていました。12月より、午前午後の清掃となりました。

4) 飲食店（レストラン「味彩亭」）

6月末まで週5日、利用者様2名が働いていましたが、7月から利用者1名の方が職業訓練を受けるため4ヶ月間休みました。職業訓練を修了した後、再利用されましたが、一般就労を目指しています。利用者様の勧誘を行っていますが、調理作業に参加できる利用者様の確保には至っていません。

5) 販売事業

惣菜やデザート、どら焼き、生椎茸、干し椎茸、切干大根などを曜日毎に移動販売車で販売しました。惣菜や菓子類は、お客様から好評で安定した売上を上げています。

移動販売は、安定した売上を見込みましたが、お客様へのアピール力が足りず、更なるお客様獲得や売上向上になりませんでした。職員の工夫が足りませんでした。

下田温泉ゆ〜らくえん内で、アイスクリームの無人販売をしていますが、万引きが絶えないため、防止対策を講じながら販売しています。

①地域販売

のぞみ園祭 令和元年6月9日
販売品：唐揚げ、蒸しパン、焼きそば、ナポリタン、どら焼き、各主椎茸製品、飲料水
すこやか祭り 令和元年7月20日
販売品：唐揚げ、焼きそば、ナポリタン、どら焼き、各種椎茸製品、飲料水
2019ガーデンフェスティバル
販売品：唐揚げ、蒸しパン、焼きそば、ナポリタン、どら焼き、かき氷、各種椎茸製品、飲料水
航空祭 令和元年9月8日
販売品：目玉焼きそば、お好み焼き、ペットボトル飲料水
秋の農業まつり 令和元年10月27日
販売品：目玉焼きそば、唐揚げ、ナポリタン、どら焼き、生椎茸、干し椎茸丸、干し椎茸かけ葉、ペットボトル飲料水
北公民館文化祭 令和元年11月2日
販売品：目玉焼きそば、唐揚げ、肉まんあんまん、切干大根ミックス、どらやき、生椎茸、干し椎茸丸、干し椎茸かけ葉、ペットボトル飲料水
創心会 令和元年12月1日
販売品：3,000円オードブル×2
歳末感謝祭 令和元年12月15日
販売品：シャモロックラーメン、目玉焼きそば、たこ焼き、炊き込みご飯、唐揚げ、肉まん、あんまん、焼き鳥、フライドポテト、お好み焼き、ホットコーヒー、各種どら焼き、生椎茸、各種干し椎茸、切干大根、ペットボトル飲料水
創心会 令和2年1月25日
販売品：4,000円オードブル×3
木ノ下墓地管理会 令和2年2月8日
販売品：3,000円オードブル×5
おいらせ町社会福祉大会 令和2年2月8日
販売品：唐揚げ、蒸しパン、あんドーナツ、目玉焼きそば、どら焼き、干し椎茸スライス、干し椎茸かけ葉
木ノ下町内会 令和2年3月8日
販売品：3,500円オードブル×10

②地域販売収益状況 単位：円

行 事 名	施設製品販売額	食品調理販売額	合 計
のぞみ園祭	30,100	1,900	32,000
すこやか祭り	2,730	12,240	14,970
ガーデンフェスティバル	700	31,300	32,000
三沢基地航空祭		459,050	459,050
秋の農業まつり	31,562	21,150	52,712
北公民館文化祭	6,534	40,612	47,146
創心会		6,000	6,000
歳末感謝祭（折半）	53,110	19,470	72,580
創心会		12,000	12,000
木ノ下墓地管理会		15,000	15,000
おいらせ町社会福祉大会	2,548	13,500	16,048
木ノ下町内会		35,000	35,000

(2) 生活支援

軟膏塗布が困難な方、下着確認が必要な方への支援を行いました。

(3) 就労支援

ハローワーク三沢で職業訓練を利用し、パソコン教室へ7月から4ヶ月受講された方が1名いました。令和2年3月にハローワークの会社説明会へ参加予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、延期となっています。

(4) 相談援助

利用者様より、職員の言動が自分にとって気になる表現・嫌な気分になる表現、他利用者様を怒る表現をしたとの訴えが、担当相談支援専門員にありました。すぐに、担当相談員、管理者、現場責任者、わいわい全職員と検証を行いました。利用者様への言葉遣いや振る舞いなどを改め、取り組んでいます。

(5) 食事提供

あかしや寮厨房で調理した物を事業所内の厨房で盛り付けをして、提供しています。食事量の調整など、利用者様の問題点を話し合い、栄養面、体重管理などに努めています。

利用者様には、配膳前に、必ず手洗い、うがい、消毒を実施したかを再確認し、衛生面に気をつけました。

(6) 健康管理

毎朝のミーティング時、健康状況などを確認し合い、異常を確認した場合は、即対応しています。

活動後に必ず、手洗いの徹底に努めています。利用者様は、自発的に出来る方が殆どですが、できない方には支援しています。

毎月体重測定、5月、12月健康診断、7月、2月歯科検診を行いました。健康診断と歯科検診の検査結果は保護者様へお渡ししました。

服薬が必要な方へ声掛け支援し、薬の飲み忘れがないようにしました。

4. 建物・設備・備品等管理計画

2カ所のビニールハウスの屋根張り替えと破損個所の補修を行いました。清水基金ハウス内外補修、事業所内食品加工用冷蔵庫内の定期的な掃除を行い、整理整頓と衛生管理に努めました。

加工棟乾燥機内掃除、薪ストーブ内清掃を実施しました。定期的に事業所周辺の環境整備に努めました。

5. 年間行事

月	行事内容
4月	創立記念日、近隣道路清掃実施しました。
6月	近隣道路清掃実施しました。
8月	事業所大掃除実施しました。
10月	近隣道路清掃実施しました。
12月	昭壽会利用者忘年会実施しました。大掃除実施
1月	初詣実施しました。

6. 研修計画

法人全支援員を対象とした、個別支援計画に関する研修を、年2回実施しました。わいわい内でのスキルアップ研修は、行っていません。

生活介護事業所 わくわく

1. 利用者様の状況

1) 支援区分

令和 2年 3月31日現在

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
10	10	男性	0	0	0	2	1	2	5
		女性	0	0	1	0	2	2	5
		計	0	0	1	2	3	4	10
平均区分：全体5.0 男性：5.0 女性：5.0									

2) 利用者の年齢

年齢	18～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	66～ 75	計
男	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5
女	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	5
計	3	1	1	3	1	0	0	0	0	1	10
平均年齢：全体39.1歳 男性：30.2歳 女性：40.0歳 最少年齢：19歳 最高年齢：70歳											

3) 出身地

市 町 村	三 沢 市	横 浜 町	お い ら せ 町	六 戸 町	東 北 町	五 戸 町	計
男	1	0	2	1	1	0	5
女	2	1	1	0	0	1	5
計	3	1	3	1	1	1	10

4) 月別施設利用状況 定員10名

生活介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
延人数(人)	180	188	174	198	173	184	1,097
平均(人)	8.1	8.1	8.7	8.6	7.8	8.7	8.3
利用率(%)	81.8	81.7	87.0	86.0	78.6	87.6	83.7
生活介護	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	206	178	165	173	154	174	2,147
平均(人)	8.9	8.4	7.8	7.8	7.7	7.9	8.1
利用率(%)	89.5	84.7	78.5	78.6	77.0	79.0	81.5

2. 年度重点目標達成状況

4月から登録利用者様が11人となりましたが、定期通院や急に休む利用者様もあり、利用率は思うように向上していません。

八戸高等支援学校や七戸養護学校等に受け入れ状況を伝えていますが、利用者様の確保と利用率の向上が課題となります。

保護者と本人を交えた3者面談を年2回行い、本人、保護者の意向などを伺っていますが、支援会議で目標設定、支援内容、支援方法を検討しても、全支援員が個別支援計画書に従ったサービス提供が行えず、意思統一が必要です。

利用者様の自己選択や自己決定を尊重し、個々の能力を引き出すことができるように、情報提供に努めました。

認知症の利用者様や高齢の利用者様、重複障害の利用者様等も利用されているため、安全面に配慮した支援を心がけました。

地域で生活するための生活習慣やマナーの習得を行っています。

3. 利用者様支援

(1) 生活支援

調理活動や音楽活動は、利用者様が楽しみにしている活動で、準備や片付けも積極的に行っています。協力して行う事で協調性や社会性を身につけることができる場としたいと考えています。調理活動の際の手洗いやエプロン、三角巾を着用し衛生面にも十分留意しています。

来所時や帰宅時の挨拶は、以前はありませんでした。現在は自ら挨拶するようになってきています。食後のテーブル拭きや食前食後の挨拶を行うよう、マナーについても支援しています。

排泄の際は、拭き取りができない利用者様もあり清拭支援を行っています。口腔ケアにも力を入れ、磨き残しがないように指導、介助を行いました。

(2) 生活訓練

地域で生活する為に必要なルールや、迷惑になる行動は何かについて、具体的に説明を行っています。活動内で他の利用者様の手伝いをしたとき等は、褒めて、本人様が自発的に協力する動機付けとしています。

隣接する公衆浴場を利用する時は、着替えや道具の準備を自分で出来るように支援し、入浴時のマナーについても、毎回指導しました。

(3) 創作活動

利用者様一人一人の個性を表現してもらうため、創作の時間を提供しています。大きな画用紙全面に絵を描く利用者様、新聞紙でこよりを作り、積み上げてオブジェを作ったりする方もいました。

手芸の好きな利用者様は、裂き織りのバックや財布を作るなど、手先が不器用だと思

っていた利用者様が意外な才能を見せています。

一人1点作品を完成させ、「Art to you 作品展」に応募しましたが、今回は入選しませんでした。

NHKハート展に1名の利用者様の詩を応募しましたが、入選しませんでした。利用者様はその後も詩作を続けています。

利用者様全員で、牛乳パックを利用した「廃油吸い取り紙」や裂き織りを加工して作成したバックなどを日中活動参観日や昭壽会感謝祭で販売しました。利用者様は、本人様の作品が売れたことを喜んでいました。

今後も作品の販売を通じて、創作活動への意欲向上を目指します。

(4) 健康管理

重度の障害がある利用者様や65歳以上の利用者様、生活習慣病の利用者様が多いため、毎朝のバイタル測定は欠かせません。利用者様の体調不良の早期発見に努めています。体調不良等が見られた時は、保護者様へ連絡を取り、対応しました。

水虫や湿疹、アレルギー等の利用者様が多く、入浴後に軟膏塗布を行っています。

天候と利用者様の体調を考慮しながら、体力維持のため、散策に出かけました。

(5) 食事の提供

利用者様の身体状況に合わせた食事提供を行っています。介助なしでは食事が出来ない利用者様には、誤嚥を起こさないように留意しました。

高血圧や、肥満のため、食事制限の要望がありましたが、昼食だけの問題ではなく、家庭での食生活に根本的な問題があるので、家庭での食事習慣を改めるようお願いしています。利用者様には、ゆっくり、よく噛んで食べるよう支援を行っています。

利用者様には、食事前の手洗いや消毒を行うように指導しています。食前、食後の挨拶とテーブル拭きは、食事のマナーとして行うように指導・支援しています。

4. 建物・設備・備品等管理

昨年2月から壊れていた、1階トイレの配管の破損は、7月に貸主が修理しました。

エレベーターは、9月の定期点検で不備はありませんでした。

加湿器を不注意から破損させてしまい、購入しました。

個浴の特殊浴槽の不調が何度か見られ、部品交換を行っています。

5. 年間行事計画等

月	行 事	月	行 事
4月	創立記念日	10月	音楽発表会
5月	わくわく探検隊（花見）	11月	避難訓練
6月	事業所大掃除	12月	利用者様忘年会
7月	七夕祭り	1月	初詣
8月	納涼会	2月	節分 わくわく開設記念日
9月	わくわく探検隊（ドライブ）	3月	ひな祭り

6. 研修計画

月	研修内容
4月	法人各事業所の事業内容について
6月	熱中症の予防と対応について
6月	個別支援計画書について
8月	障害の特性について
10月	感染症の予防と対応について
12月	生活習慣病について
1月	個別支援計画について学ぼう！Ⅲ
2月	虐待防止について

共同生活援助事業所 すみれハイツ

1. 利用者様の状況

1) 支援区分

令和 2年 3月31日現在

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
18	10	男性	0	1	3	1	0	0	5
		女性	0	0	3	1	1	0	5
		計	0	1	6	2	1	0	10
平均区分：全体3.3 男性：3.0 女性：3.6									

2) 利用者の年齢

年齢	18～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	66～ 75	計
男	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	5
女	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	5
計	0	1	2	0	1	0	2	1	1	2	10
平均年齢：全体50.7歳 男性：54.6歳 女性：46.8歳 最少年齢：29歳 最高年齢：70歳											

3) 出身地

市 町 村	八 戸 市	三 沢 市	青 森 市	お い ら せ 町	南 部 町	横 浜 町	階 上 町	計
男	2	0	1	0	1	0	1	5
女	2	1	0	1	0	1	0	5
計	4	1	1	1	1	1	1	10

4) 月別施設利用状況 定員18名

共同生活援助	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
延人数(人)	357	367	360	372	335	327	2,118
平均(人)	11.9	11.8	12.0	12.0	10.8	10.9	11.6
利用率(%)	66.1	65.7	66.6	66.6	60.0	60.5	64.6
共同生活援助	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	337	316	345	307	290	310	4,005
平均(人)	10.8	10.5	11.1	9.9	10.0	10.0	10.5
利用率(%)	60.3	58.5	61.8	55.0	55.5	55.5	58.7

2. 年度重点目標状況

現在男性用住居に6名、女性用住居に2名空室があります。相談支援事業所、役所、養護学校等の関係機関と情報交換や体験利用等の調整を行いましたが、新規利用者様の確保には至りませんでした。個別支援計画に基づき、利用者様の生活を世話人・支援員が連携を取り、生活支援に努めました。

3. 利用者様支援

(1) 生活支援

入浴支援や排泄支援、金銭出納の確認を行い、生活に支障が出ないように配慮しました。居室、トイレ、浴室掃除など、入居者様と一緒にやる事により、自立した生活が遅れるように支援しました。

(2) 地域生活援助

日用品や昼食の買い出し、理美容店の利用が一人では難しい方には支援しました。町内会の清掃活動、お祭りなどには積極的に参加し、地域住民との交流を持ちました。

(3) 健康管理

毎朝の体温測定、血圧測定を行い、健康管理に努めました。半年に1度の健康診断を行っています。抗てんかん薬の飲み忘れにより、救急車で搬送されることが続いたため、服薬管理方法を改め、その後は発作は起きていません。

胆嚢炎と腸重積のため、緊急入院した入居者は70歳と高齢でしたが、退院を数日後にして脳梗塞を起こし、半身不随となったため退居されました。

(4) 食事の提供

各グループホームの世話人が毎日腕を振るっている食事提供を行っているため、入居者からの不満はありません。時々外食にも出掛けています。

4. 建物・設備・備品等管理計画

入居者様、支援員、世話人が協力して、定期的に草刈りや排水溝の掃除などを行いました。クリスは木製の手すりには防腐剤を塗りました。

ベリー敷地内に竹が発生し、発見時にはその都度除去しました。

ベリーで使用していたストーブ、昇降式物干し機が動かなくなり修理をしました。

5. 年間行事

休日は、自転車やバスを利用して、各自思い思いに過ごしていますが、交通機関を利用できない入居者様は、支援員が施設車両を使って、買い物などに出かけています。

全員でバーベキューをしたり、地域のお祭りなどにも出掛けていますが、公共交通機関が乏しいため、支援員が送迎しないと、本人が行きたいところに自由に行けないという現状があります。

相談支援事業所 あかしや寮

1. 重点目標報告

指定計画相談支援及び、指定障害児相談支援は、利用者様の意思と人権を尊重し、常に利用者様の立場を意識して、訪問や面談を行い、保健・医療・福祉・就労支援・教育等、総合的な面からサービス等利用計画書へ反映できるよう努めました。

必要に応じ、市町村、事業所との連携を図り、利用者様の希望に添えるよう努めました。

2. 計画相談実績

(1) 計画相談作成及びモニタリング件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成	4	1	23	0	2	3	1	1	0	2	0	0	37
モニタリング	2	5	26	4	6	12	1	5	17	11	2	6	97
合計	6	6	49	4	8	15	2	6	17	13	2	6	134

(2) 障害児計画相談作成件数及びモニタリング件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
モニタリング	0	0	5	0	0	0	1	0	0	2	0	3	11
合計	1	0	9	0	0	0	1	0	0	2	0	5	18

(3) 計画相談以外(地域等からの相談)

毎月、おいらせ町役場障害福祉課へ実績報告を行いました。主な内容は福祉サービスの利用に関わる相談でした。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	1	3	0	2	4	0	0	3	2	4	4	3	26

放課後等デイサービス事業所 キッズハウスピッピ

1. 利用者様の状況

1) 支援区分
区分なし

令和 2年 3月31日現在

2) 利用者の年齢

年齢	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
計	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4

平均年齢：全体11.5歳 男性：11.0歳 女性：12.0歳 最少年齢：8歳 最高年齢：15歳

3) 出身地

市町村	おいらせ町	三沢市	計
男	0	2	2
女	2	0	2
計	2	2	4

4) 月別施設利用状況 定員10名

放課後等デイ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
延人数(人)	50	54	55	55	47	42	303
平均(人)	1.9	2.0	2.2	2.0	2.0	1.6	1.9
利用率(%)	19.2	20.0	22.0	20.3	20.4	16.8	19.7
放課後等デイ	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	51	36	46	54	44	72	606
平均(人)	1.8	1.3	1.8	2.2	1.7	2.7	1.9
利用率(%)	18.8	13.8	18.4	22.5	17.6	27.6	19.7

2. 年度重点目標達成状況

「できる事」「やってみたいこと」を大事にし、手作りの遊び道具などを一緒に制作しその道具で活動しています。

定員10名の確保が早急な課題であり、市町村の福祉課、近隣市町村の学校、特別支援学校に広報紙を配布しています。その成果があり、小学校や保健師から相談を頂き、利用することになりました。

今後は、地元の保育園や隣接している八戸市北部の小中学校に広報の配布を行い、新規利用者を増やしていきます。

3. 利用者様支援内容

(1) 活動

1) 創作活動

全国知的障害児者生活サポート協会主催のアールブリュット作品展、Art to you！東北障害者芸術公募展に応募しましたが、入賞はできませんでした。

NHKハート展に2名の利用者様の詩に応募しましたが、入賞はできませんでした。

その他、季節の行事に合わせて、クリスマスツリーの飾り、張り子の雪だるま、年賀状や節分の鬼のお面を作りました。

利用者様全員で協力して、牛乳パックのブロックを使って、セラピー犬のハウス作りも行いました。利用者様一人ひとりの特性や好きな活動に合わせて、絵の具で色を塗り、シールや折り紙でお花を作り、ハウスに飾りました。

2) 調理活動

ホットケーキ、簡単ピザ、フルーツクレープ、お好み焼き、焼きそば等、役割を分担して調理しました。

たこ焼き作りは、2回行ったことで、作業の流れがわかり、利用者様が自ら生地を流し入れ、好きな具材を選んで、たこ焼きを転がして焼くことが出来るようになりました。

3) 園芸活動

主な栽培

- ・ひまわり …成長観察、苗の植え付け、背比べ、種子収穫
- ・ブルーベリー …成長観察、収穫、ジャム作り

散策やその他の活動時に、あかしや寮敷地内やキッズハウスピッピ敷地内の花や植物に目を向け、四季を感じる事ができました。

庭でのボールを使った運動の際、ボールが花壇に入らないように力加減をして花壇にボールが入った時は、花を踏まないようにゆっくりと足を運び、お花や植物を大切にしようという配慮ができるようになりました。また、自主的に四つ葉のクローバー探しや様々な形の枯れ葉探しを行い、自然に対して興味を示していました。

(2) 遊び

1) 屋外遊び

学校休業日には、鬼ごっこや交代でバドミントンを行うなど、体力作りを行いました。遊びを通して協力し、譲りあうことを学んでいました。

2) 室内遊び

トランプ、かるた、ブロック遊びは、集団で行っています。一人遊びは、鑑賞されないように、活動場所を提供しました。

他の利用者様が使用している玩具で遊びたい時には、「貸してください」と声をかけ、一緒に遊びたい時は、「仲間に入れて」と言葉にして意思表示できるようになってきています。

(3) 生活訓練

1) 挨拶

来所時には、率先して職員が「おはようございます」や「お帰りなさい」と声をかけています。それに対して玄関に入ってくると、大きな声で「おはようございます」や「ただいま」と挨拶をし、入ってくる他利用者様に「おはようございます」や「おかえりなさい」と挨拶をしています。

食事の時にも、各自「いただききます」「ごちそうさまでした」の挨拶ができています。利用者様全員で揃って挨拶ができる日も増えました。

発語のない利用者様はお辞儀、手を合わせるなどの身振りで挨拶できています。帰宅する際には、必ず挨拶をしてから帰っています。

2) 手洗い、うがい

来所後、屋外活動後、食事、おやつ時には、必ず手洗い・消毒を行なっています。時々、手洗いが雑になることもありましたが、洗面所に手洗いの順番を絵で掲示し、利用者様が確認できるようにしています。

ブクブクうがいやガラガラうがいが苦手な利用者様もいますが、口に水を含んで吐き出すことができます。

新型コロナウイルス感染防止のために、手洗い、手指消毒が予防策として重要になってきます。個別に指導を行い、身に付けることができるよう援助しています。

3) 食事

学校休業日や行事等で午前中に授業が終わる時は、あかしや寮の給食を利用される利用者様やお弁当を持参される利用者様がいます。感染症予防対策のため、全利用者様が事業所内で食事を摂っています。

食事中は、姿勢が乱れたり、咀嚼回数が少ない方に対して、その都度、分かりやすい動作や方法でお手本を見せています。

食事の前には、手洗い・消毒を行い、食事の後には歯磨きという流れに沿って、動くことができます。

(4) 地域交流

学校休業日には、地域の社会資源を活用して活動を行いました。七戸駅見学、三沢航空科学館、スーパーでの買い物、ダイハツスタジアム見学、マクドナルドでの新年会、白鳥観察等を通し、地域の方々と交流することができました。

ダイハツスタジアムでは、バンラーレ八戸の選手が練習しており、利用者様が「がんばれ～」と声をかけると手を振り「ありがとう」と答えてくれました。サッカーが大好きな利用者様は「おれ、サッカー選手になる」と大喜びでした。

マクドナルドでは、自分で食べたいメニューを決め、注文し、支払いまで行いました。店内にあるプレイランドで、訪れていた児童達と滑り台の順番をお互い譲り合い遊んでました。これからも、社会経験の幅を広げることができるように、積極的に地域と交流できる活動を取り入れていきます。

(5) 余暇の提供

季節を感じて頂くことができる余暇活動を行いました。お花見、こどもの日のお祝い、七夕飾りの製作、公園での水遊び、ソリ滑り大会、年賀状製作（ご家族、学校の先生に発送）新年会等を行いました。季節に応じた活動を行うときは、（こどもの日、七夕、年賀状、新年会等）は、何故行うのか由来を説明しています。

4. 情報公開

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、8月に「保護者向け放課後等デイサービス評価」「事業者向けサービス自己評価」を行いました。集計時に問題点、改善点を見だし、職員間で改善策を考え、その結果を法人ホームページにて公表しました。

利用者様とご家族に満足していただけるよう、質の高いサービスを提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。

5. 広報紙

年に4回広報紙「きょうも元気だっ！ピッピーズ」を発行しました。日々の楽しい活動が伝わるように内容を工夫しました。近隣、小中学校の支援学級、保健センター、福祉事務所、利用者様に配布しました。

イオン下田内にも置いてあり、どなたでも気軽に持ち帰る事ができます。広報を通じ、事業所のPRにも繋げていきたいと考えています。

6. 年間行事

月	行事	取り組み内容
4月	お花見	三沢中央公園に行きました。あいにく小雨の天気でした。
5月	こどもの日お祝い	手作りの胃を身に付け、氣比神社にお参りしました。
6月	お弁当持ってハイキング	三沢航空科学館に行きました。大空広場のテラスで持参している手作りのお弁当を食べました。
7月	七夕	七夕飾りを作り、短冊には各自願い事を書きました。
8月	夏休みだ！海に行こう	海には行きませんでした。親水公園で全身ずぶ濡れになりながらも思いっきり水遊びを楽しみました。
9月	収穫祭	ジャガイモ等作物の植え付けをしませんでした。花壇にあるブルーベリーの収穫をしました。
10月	ピッピ1周年記念 ひまわり種収穫	室内の装飾作りを行いました。当日は、おやつを食べてお祝いと記念撮影を行いました。 ひまわりの種を収穫しました。
11月	チューリップの球根植え付け	当日、利用者様の利用がなかったため、職員が行いました。
12月	年賀状作成 スタンプラリー (イオン下田イベント参加)	保護者様、担任教諭宛てに年賀状を作成しました。ポストまで歩いて行き、一人ひとり投函しました。 「アナと雪の女王」のスタンプラリーに参加し、シールやキーホルダーを貰いました。
1月	すごろく大会 マックで新年会	景品付き（おやつ）のすごろく大会を行いました。 マクドナルド三沢店に行き、ハッピーセットを注文し、新年のお祝いしました。
2月	カレンハウス作り 間木公園 (白鳥観賞)	レンガに見立てた牛乳パックに絵を描いたり、シールを貼ったりして飾り付けを行いました。 間木公園にて、白鳥観賞や餌やりを行いました。
3月	カレンハウス	完成をジュースで乾杯してお祝いしました。

7. 研修計画

月1回研修を行う事により、職員間での様々な共通理解を深め、支援の質の向上に繋げることができました。

月	研修内容
4月	合理的配慮とは
5月	発達障害について
6月	発達障害の特性や対応の仕方について
7月	発達障害のある子どものかんしゃくについて
8月	発達障害に関する母の主観的独創的解釈
9月	発達障害のこどもへの声かけ
10月	SSTファーストレベル研修報告会
11月	自立課題
12月	LD・ADHDのためのSST
1月	個別支援計画書について学ぼう！Ⅲ
2月	感覚統合
3月	仲直りの握手